

東京IPO主催 個人投資家様向けIRセミナー



2025年9月6日
ニチレキグループ株式会社
(証券コード5011)

「道」創りを通して社会に貢献する
「道」創りのリーディングカンパニー

「種を播け」



「種を播け」

よい種を播いて歩こう
これが我が社のモットーです
たとえ、どんな旱魃がきても
枯れないような強い種をまき
汗を流して肥料をやろう
必ず立派な実がみのる
たとえ、自分がとらなくても
私はこう思っています
種まきをしないで
肥料をやらないで
誰も果実ばかりねらっている
は本当の繁栄はこない
私はそう思います

池田 英一（当社創業者）

日本の「道」を強くする。ニチレキグループ



私たちニチレキグループは、
日本の **道路** インフラ を
アスファルト 舗装材料 や高品質な施工、
AI を活用した **点検** 技術で支えています。

「知る人ぞ知る会社」から
「みんなに知ってもらえる会社」になるために
ニチレキグループの事業概要についてご紹介します。

目次

- I. ニチレキグループと事業のご紹介
 - II. 2026年3月期第1四半期 決算概要および通期予想
 - III. 将来へ向けて
 - IV. 株主様への還元
 - V. ESGの取り組み
- (参考資料)

I . ニチレキグループと事業のご紹介

会社概要



名称	ニチレキグループ株式会社 NICHIREKI GROUP CO., LTD.	従業員数	1,386名 (連結、2025年3月31日現在)
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号	事業内容 グループ事業内容	グループ経営戦略の企画・立案および グループ会社の経営管理・監督、 グループ共通業務等 ・ アスファルト応用加工製品の 製造・販売 ・ 建築・土木用資材の製造加工・販売 ・ 道路舗装工事・防水工事・上下水道 工事、及びその他の土木工事の請負、 これに関する調査・設計・監理 他
創業	1943年10月 (設立 1949年9月)		
資本金	29億1,968万円		
代表者	代表取締役社長 小幡 学		

日本の「道」を強くする。ニチレキグループ



創業 **82** 年

1943 年創業の老舗企業です。

105 拠点
2025年7月現在

全国に広がるネットワークで、
地域の**安全・安心**を
守ります。



地球
約 **32** 周分

膨大な補修ストックのある日本。
だから**点検**も**補修**も
たいへん！

グループ沿革



1943年

池田英一が**アスファルト**を用いた**建築防水**工事を行う
「日本瀝青化学工業所」を興す

1950年

東京都荒川区に東京工場・研究室を建設、
アスファルト乳剤の製造を開始

1977年

栃木県の小山工場内に**技術研究所**を開設

2002年

中国・北京市に特殊舗装材料の製造・販売を行う
日中合弁会社・北京路新大成景觀舗装有限公司を設立

2022年

東証証券取引所「**プライム市場**」へ移行

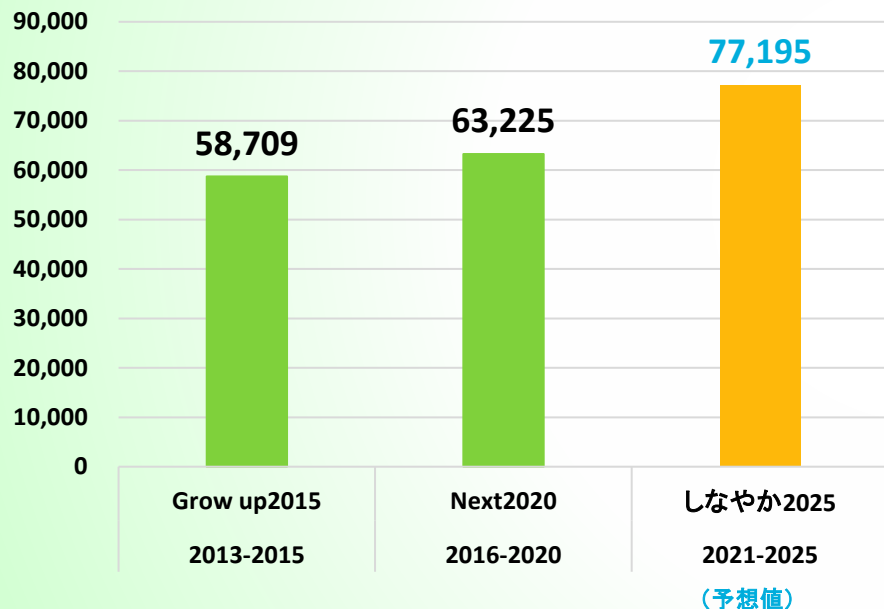
2024年

10月1日 **持株会社体制**へ移行

しなやかに、着実に 成長してきました

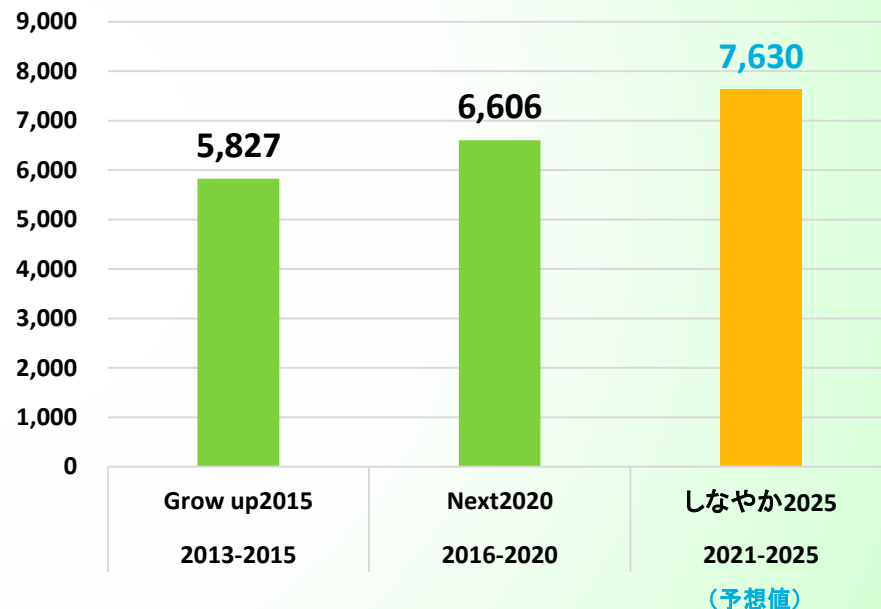
売上高

(百万円)



経常利益

(百万円)



※中期経営計画について各年度の平均値からグラフ化

ニチレキグループ 競争優位の源泉



舗装に関する独自のビジネスモデル

舗装の調査・診断から補修方法の設計・提案、アスファルト製品の製造・販売から施工・管理まで、舗装の一貫したソリューションシステム

研究開発力

お客様のご要望や困りごと、市場のニーズに対し、創造性と独自性を発揮して新たな製品・工法を生み出す研究開発力

日本全国に広がるネットワーク

国内105拠点(44/47都道府県)、全国各地の拠点で道路管理者様、お客様と密接にコミュニケーション

ブランド力

アスファルト乳剤、改質アスファルトで国内トップクラスのシェアを占め、全国の舗装関係者にブランド・イメージが広く定着

競争力の源泉① 独自のビジネスモデル

研究開発を核に、道路舗装事業のすべてを担っています



競争力の源泉② 研究開発力

50名を超える従業員が研究開発に従事
舗装における性能評価試験機類を配備
環境配慮型の製品・工法の研究開発を推進



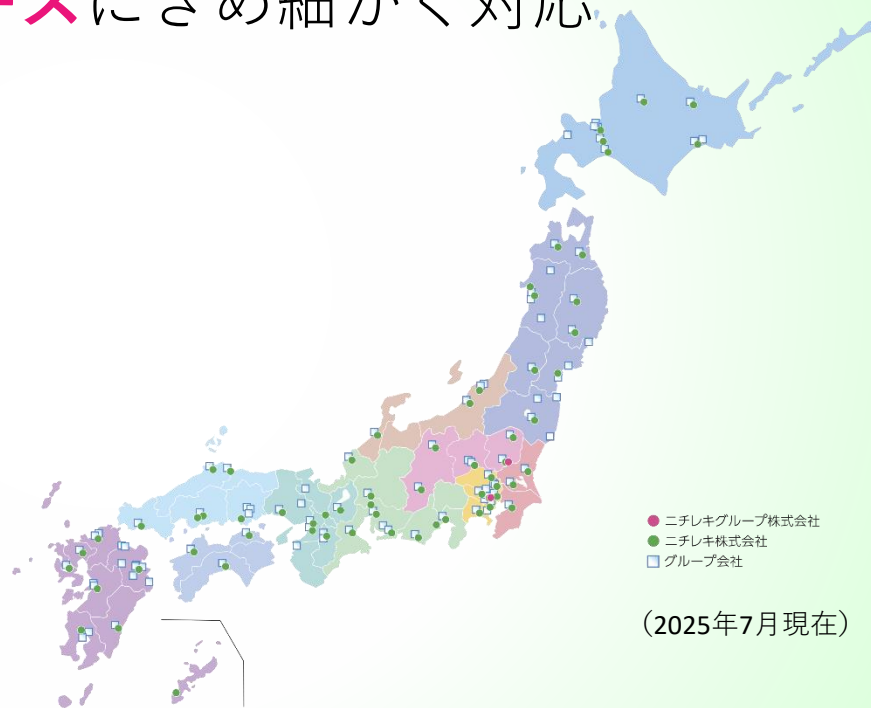
競争力の源泉③ 日本全国に広がるネットワーク

 **地域ごとの異なるニーズ**にきめ細かく対応



105拠点
2025年7月現在

全国に広がるネットワークで、
地域の**安全・安心**を
守ります。



(2025年7月現在)

ちょっと寄り道・・・実はこんな製品・工法を提供しています



- アスファルト
- 主力製品
- 主力工法
- 日本の道路延長
- 調査技術
- 多様な製品・工法ラインナップ
- 事例紹介

アスファルトってなに？



そもそもアスファルトとは・・・

アスファルトは、原油の蒸留の過程で作られる物体

常温では**固体**、**熱を加えることで溶解し、液状となる**性質を持つ

舗装関連では、碎石、砂、石粉などをつなぐ**接着剤**や**防水材料**として使われる



加熱



ニチレキの主力製品①「アスファルト乳剤」

ニチレキは国内でトップクラスのシェア！

アスファルト乳剤は、
アスファルトを常温でも液状で取り扱えるようにしたもの



ニチレキは、国内初の
「カチオン系アスファルト乳剤」を開発



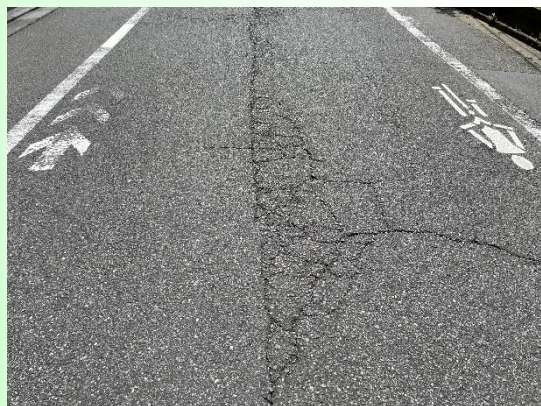
舗装工事が容易になったことで
戦後日本の物流網の発展に大きく貢献

ニチレキの主力製品②「改質アスファルト」



経済発展とともに道路の交通量が急激に増加すると、
道路の安全性向上が課題に

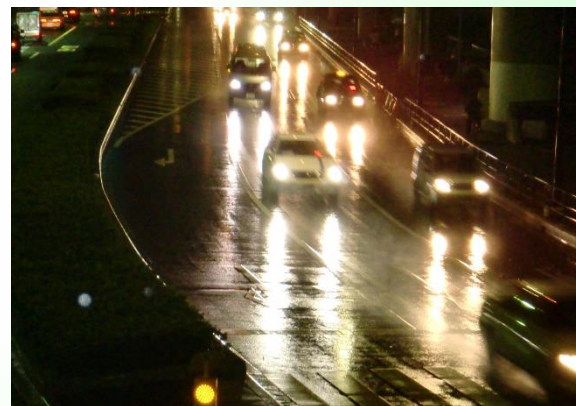
ひび割れ



わだち掘れ



雨天時のタイヤ滑りや
ライトの反射



ニチレキの主力製品②「改質アスファルト」

ニチレキは国内でトップクラスのシェア！

改質アスファルトは、
石油アスファルト（ストレートアスファルト）に
ポリマーなど様々な**改質剤を添加して性能を改善**したもの



長寿命



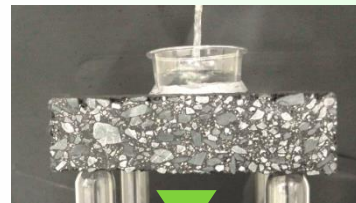
スーパーシナヤカファルト



耐重荷重



スーパーコンテナファルト



排水・低騒音

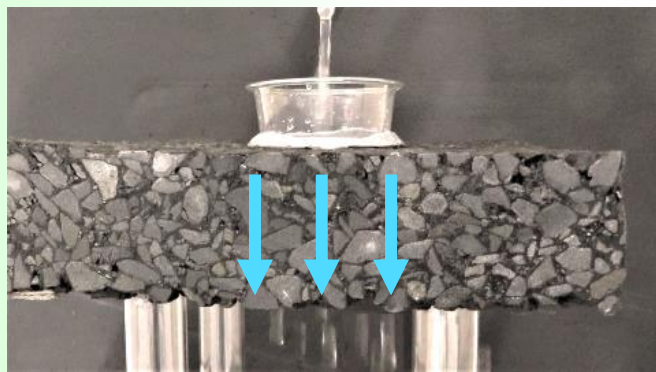


タフファルトスーパー

ニチレキの主力製品②「改質アスファルト」



💡 排水性舗装の登場で、雨天時の事故が約**8割**減少！



水を通す構造で
水たまりやライトの反射対策に



(参考) イタルダ・インフォメーション「高速道路の交通事故の特徴と対策」
<https://www.itarda.or.jp/contents/513/info25.pdf>

ニチレキの主力工法「スタビセメントRC工法」

スタビセメントRC工法

地震災害に強い舗装

傷んだ舗装をその場でリサイクル

+

アスファルト乳剤の柔軟性と
セメントの剛性でより強靱な舗装に

+

ICT導入でより精度の高い施工管理
生産性も向上



令和6年能登半島地震 復興でも活躍中

日本の道路延長

💡 約128万km＝地球約32周分！



スマホを使った道路舗装の点検

GLOCAL-EYEZ(グローバルアイズ)



画像データアップロード
AI解析(約1時間)

■	ひび割れ修繕区分Ⅰ(損傷レベル小)
■	ひび割れ修繕区分Ⅱ(損傷レベル中)
■	ひび割れ修繕区分Ⅲ(損傷レベル大)
■	ポットホール発生箇所
■	路盤発生箇所



乗用車に取り付けた**スマホ**で
道路を撮影するだけ



AIが自動解析するから誰でも点検可能



ニチレキのノウハウで
最適な補修方法を提案

多様な製品・工法ラインナップ



長寿命、リサイクルなどのさらなる性能・機能を「プラス」する

『足可テコビリテヤ』により、持続可能な道づくりに貢献

アスファルト乳剤

改質アスファルト

橋梁床版防水工法

景観工法

etc...



事例紹介①～青森

日本経済新聞 2025年7月28日掲載広告

青森の道をスマホで守るぞ、ラッセラー。

路頭にポットホール(穴)がでさそうな部分を
スマートフォンとAIで未然に対策。
ニチレキが青森県ではじめたDXの取り組みとは。

青森の四季は、くっきりと変わる。
秋は紅葉の絨毯。夏は涼しい海風。春は桜の香りが。
長い冬に降り積もる雪も人々の生活に支障なし。その自然の恵みのひびきに人々は心なを
なやませる。その恵みの恵みにも。
青森の恵みに感謝して、自然は静かに恵みをもたらしているのです。
そこでニチレキは、道路の陥没を「AI（人工知能）で検知（「デジタルアイズ」）を基にした
スマートフォンで撮影した画像をもとにポットホールの発生箇所を予測するAIを開発。
冬を過ぎる前から雪が降り始める前まで活用しています。
大規模な降雪（雪が50センチ以上）に、日本の気候で最も厳しい雪害を防ぐこと。
そして道路の陥没に自覚的な対策をもちたしています。
それが、スマートフォンで「予測」すること。
おまかせのAIが検知して、事前に。
ニチレキはふるさとを建てる人々の暮らしをサポートします。



日本の「道」を強くする。ニチレキグループ



広告の内容はこちらから
ご覧いただけます



事例紹介② ～首都高速道路

日本経済新聞 2025年8月4日掲載広告



アフリカゾウ、15億2千万頭分が道を行き交う国。

貨物を積んで日本中を走る
物流トラックの総重量は年間約76億トン。
強靱でなければ道路の寿命はすぐ尽きてしまう。

日本は国土の狭小な国土に、人口の密集と、世界最大の経済圏を有する。物流の中心地として、日本は世界に誇る。物流の中心地として、日本は世界に誇る。物流の中心地として、日本は世界に誇る。

物流の中心地として、日本は世界に誇る。物流の中心地として、日本は世界に誇る。物流の中心地として、日本は世界に誇る。

広告の内容はこちらから
ご覧いただけます



日本の「道」を強くする。ニチレキグループ

事例紹介② ～首都高速道路

高耐久超低騒音舗装



第26回国土技術開発賞 優秀賞受賞

Ⅱ．2026年3月期第1四半期 決算概要 および通期予想

決算ハイライト I（事業環境）

当社グループを取り巻く事業環境

- ◆自然災害からの復旧・復興、防災・減災および国土強靱化の推進等を背景に公共投資は底堅く推移
- ◆建設資材価格の高止まりや人手不足、人件費の上昇
- ◆中東情勢の緊迫化や長期化するウクライナ情勢等、地政学リスクの継続、関税措置をはじめとする米国の政策動向の不透明感により、原油価格や為替相場の動向等に注視を要する状況

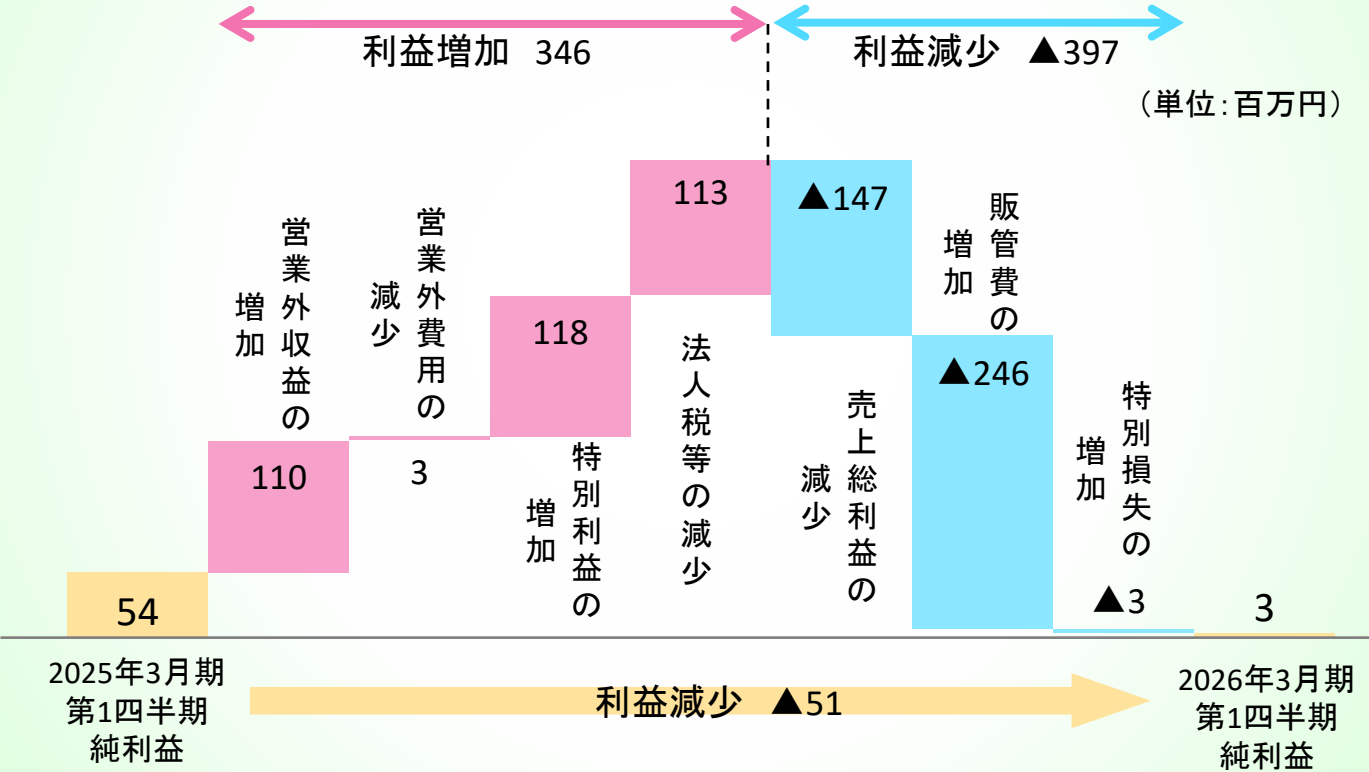
決算ハイライトⅡ（連結経営成績）



（単位：百万円）

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前期増減率
売上高	13,527	13,700	1.3% ↑
売上総利益	2,789	2,641	▲5.3% ↓
販売費及び一般管理費	2,712	2,959	9.1% ↑
営業利益	76	▲ 317	— ↓
経常利益	164	▲ 114	— ↓
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	3	▲94.3% ↓

純利益の増減要因分析



決算ハイライトⅢ（セグメント別事業活動）



アスファルト応用加工製品事業

- ◆高値圏での推移が続く原材料価格への対応
- ◆「長寿命化・高性能化」や「環境負荷低減」を図る高付加価値製品の設計・受注活動の更なる強化

道路舗装事業

- ◆防災・減災、国土強靱化対策に係る工法提案からの受注活動
- ◆工事の着実な執行
- ◆工事価格への適切な価格転嫁

決算ハイライトⅣ(セグメント別業績・累計)



(単位:百万円)

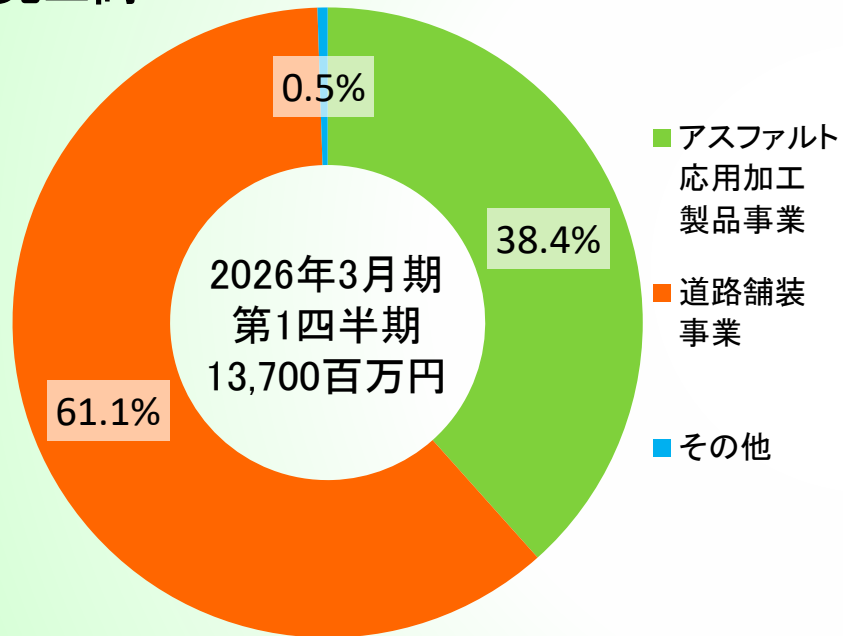
	アスファルト応用加工製品事業			道路舗装事業		
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前期 増減率	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前期 増減率
セグメント売上高	5,475	5,260	▲3.9% ↓	7,970	8,369	5.0% ↑
セグメント利益	841	383	▲54.4% ↓	127	192	50.6% ↑
セグメント利益率	15.4%	7.3%	▲8.1pt ↓	1.6%	2.3%	0.7pt ↑

※アスファルト応用加工製品事業のセグメント売上高は、外部顧客への売上高

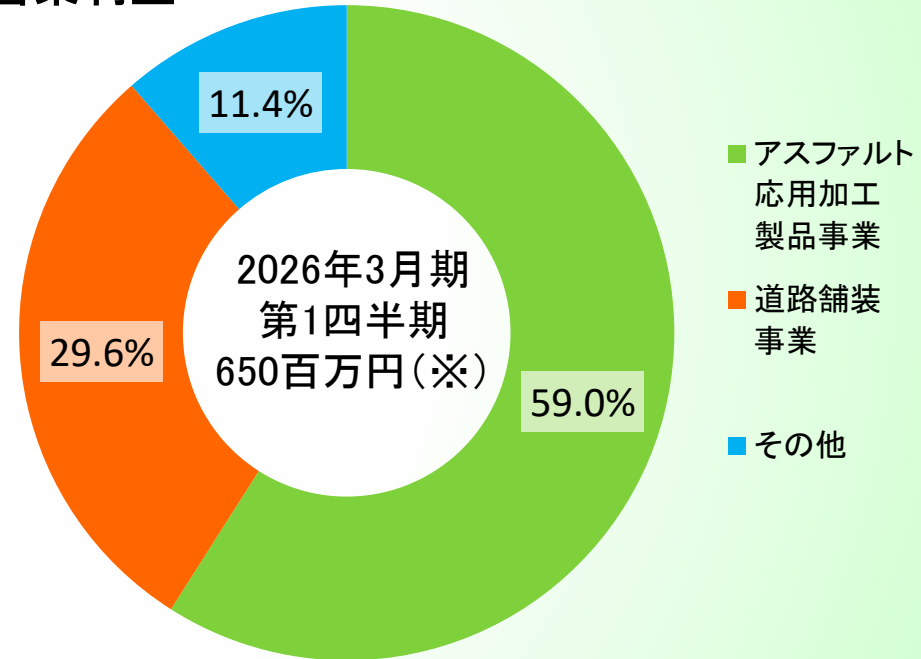
※セグメント利益は、セグメント間取引消去および全社費用の調整額を控除する前の金額

セグメント別業績比率

売上高



営業利益



※: セグメント間取引消去および全社費用の調整額
967百万円を控除する前の金額

通期業績予想(連結)



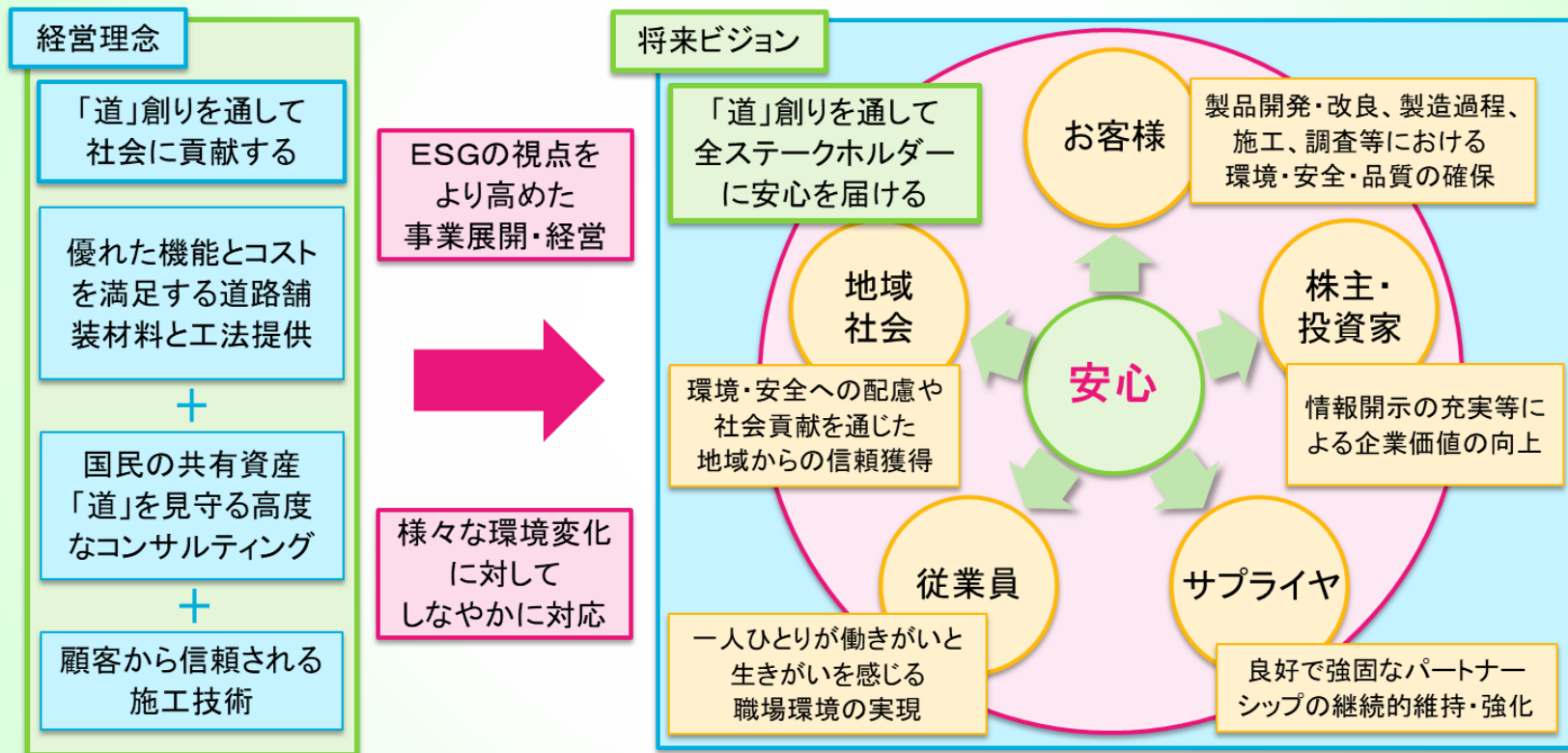
(単位: 百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想(※)	対前期増減率
売上高	75,745	80,000	5.6% ↑
営業利益	6,268	7,000	11.7% ↑
経常利益	7,047	7,300	3.6% ↑
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,848	4,900	1.1% ↑

※ドバイ原油価格75ドル/バレル、為替145円/ドルで想定

Ⅲ. 将来へ向けて

創業100年(2043年)将来ビジョン



「国土強靱化」へのニチレキグループの貢献



社会課題

道路・橋などのインフラ老朽化

自然災害の激甚化・頻発化

インフラ整備・強靱化に対するニーズの高まり

2023年6月 改正国土強靱化基本法成立

政策

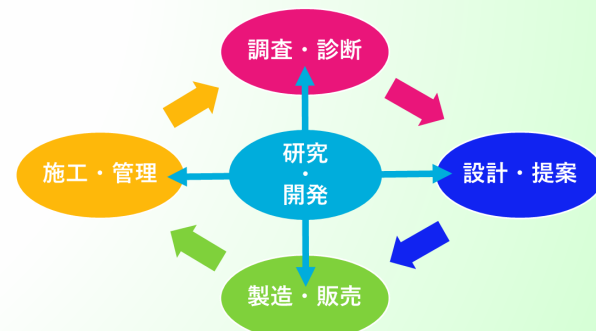
2021年～2025年
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
予算規模：約15兆円

現行

2026年～2030年
第1次国土強靱化実施中期計画
予算規模：約20兆円強

次期

ニチレキ



一貫した
プロセス
・
高付加価値な
製品・工法

足可テコビルテヤ®

ニチレキグループの成長戦略



研究
開発力

製品ラインナップ拡大・高付加価値化

市場の拡大

既存市場

新規市場

既存製品・工法

お客様のニーズに応える**高品質**な製品・工法の提供により、更なる信頼を獲得し、市場に浸透

事業領域の拡大

空港や港湾、民間企業の工場、駐車場などの**新規市場**、中国・インドをはじめとする**海外市場**への展開

新規製品・工法

高付加価値製品開発

足すすびりて[®]

「**長寿命・高性能**」「**環境負荷低減**」のニーズに対応した、更なる高付加価値製品・工法を開発し、お客様に提供

次世代ニーズへの対応

つくばビッグシップにおける高付加価値の新製品により、**低炭素社会・自動運転**等、新たな市場に参入

「つくばビッグシップ」プロジェクト

総投資額約300億円を見込む一大プロジェクト

2026年度上期までに事務所棟や工場建屋等を竣工、
2027年度には新工場を稼働開始予定



生産能力の向上

高付加価値製品の製造

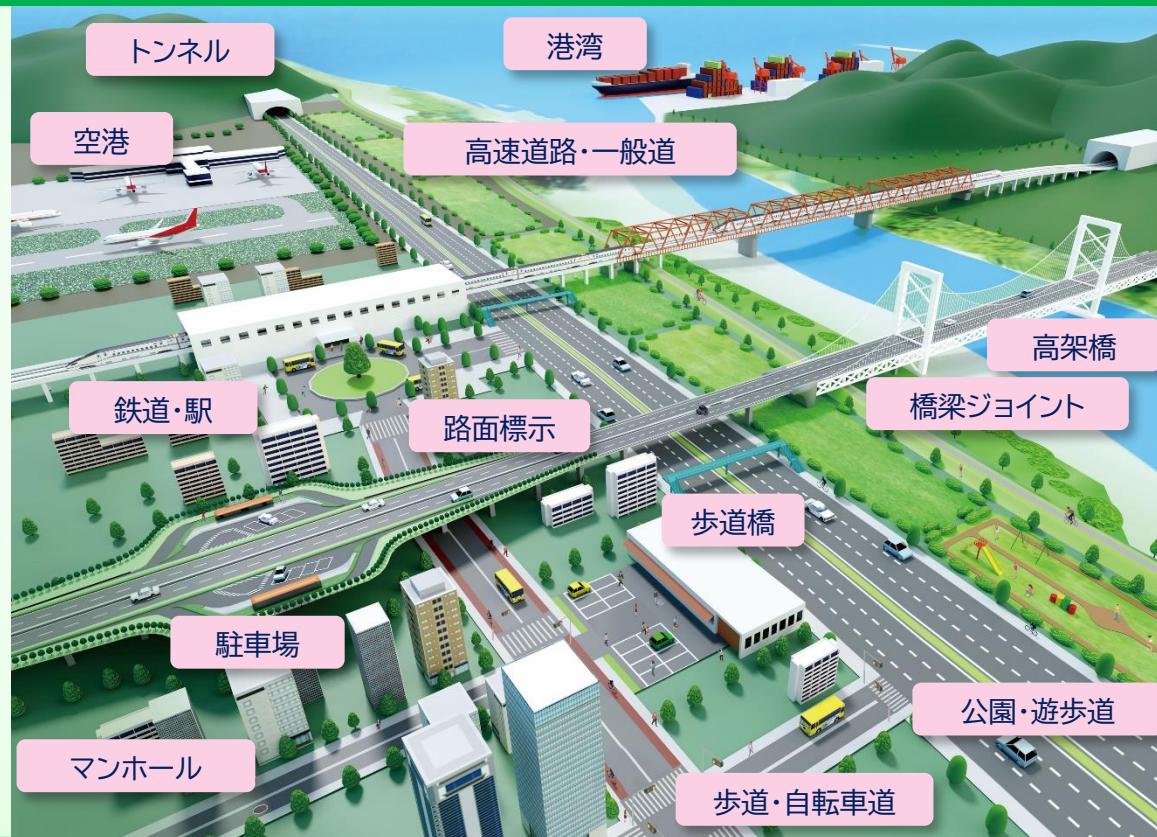
首都圏の「工事センター」機能

環境に配慮した生産・物流の実現

物流管理の効率化

BCP(事業継続計画)機能の強化

事業領域の拡大



例① 港湾・コンテナ車レーン

大井縦貫線(コンテナ車レーン)

コンテナファルトS



東京都港湾局より、優良工事表彰・技術者表彰受賞

例② 防衛施設

自衛隊施設 エプロン部

高塑性変形抵抗性
改質アスファルト混合物

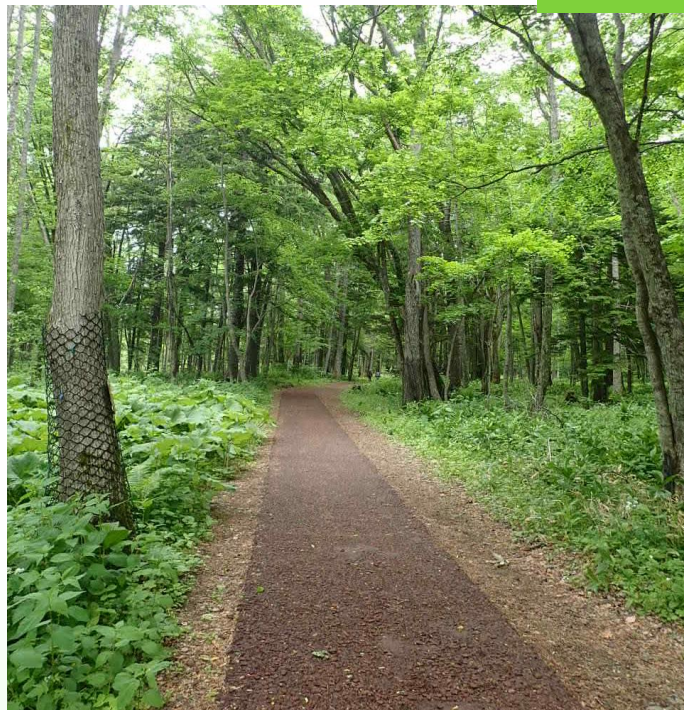


第8回インフラメンテナンス大賞
防衛大臣賞(メンテナンスを支える活動部門)受賞

例③ 公園・遊歩道

阿寒摩周国立公園

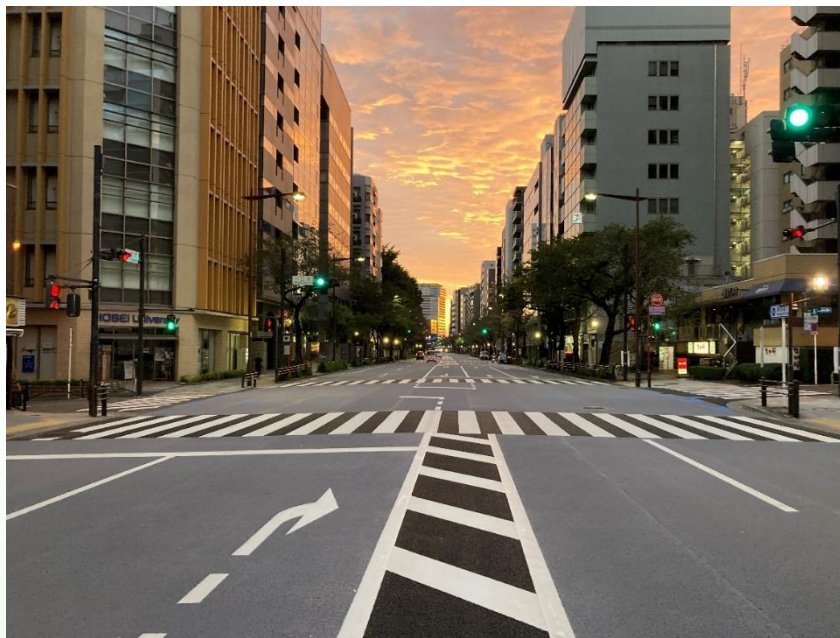
アスウッド舗装



例④ 遮熱性舗装

靖国通り

サーモテック工法



例⑤ インド高速鉄道

2015年日印首脳会談で「**日本の新幹線方式の採用**」合意
第一弾の区間はムンバイ・アーメダバード間（505km）

2009年発表の7路線

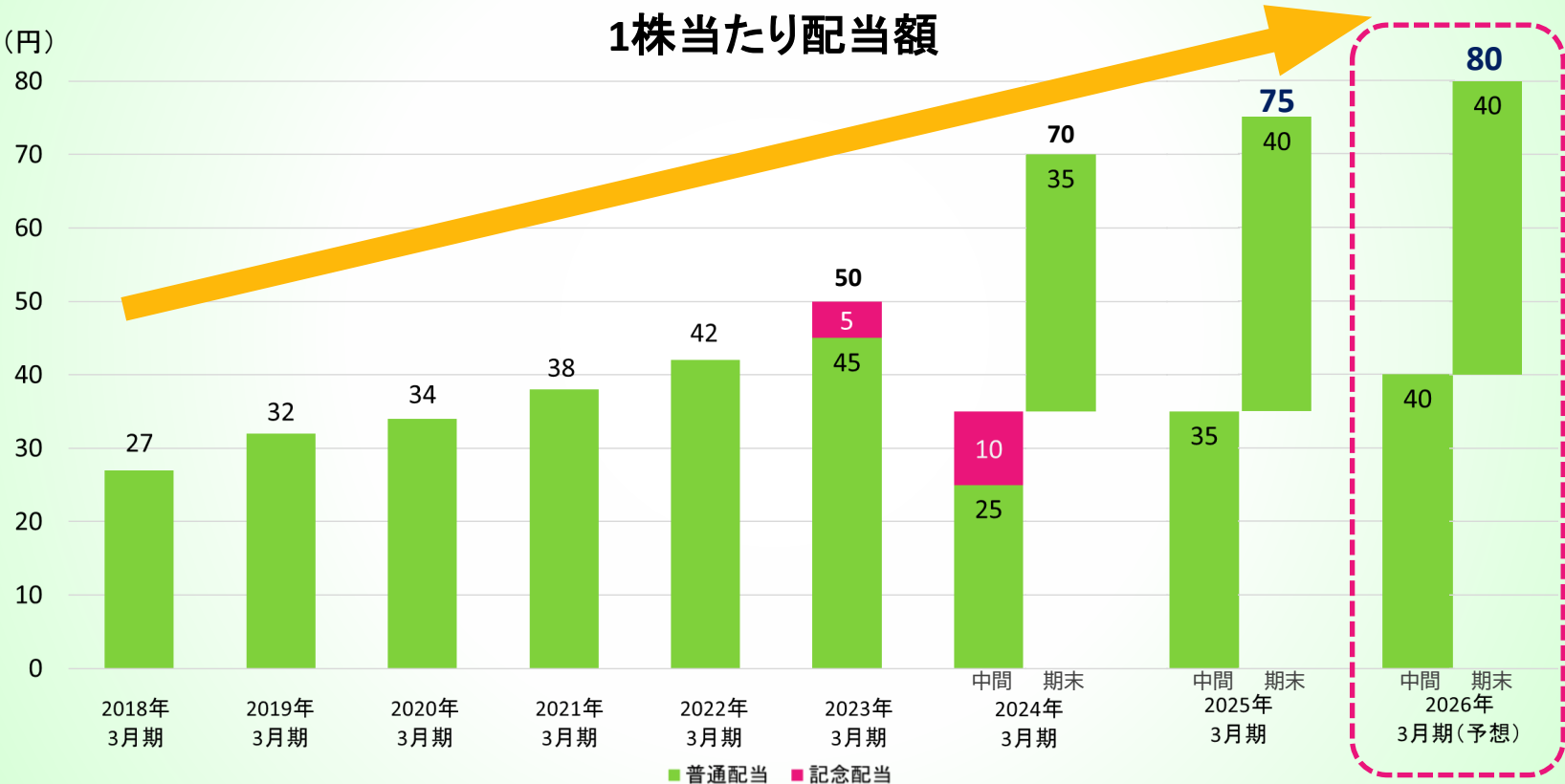


インドで事業を展開する**オー・ジー株式会社**と
インドのグジャラート州**バドダラ**に合弁会社を設立



IV. 株主様への還元

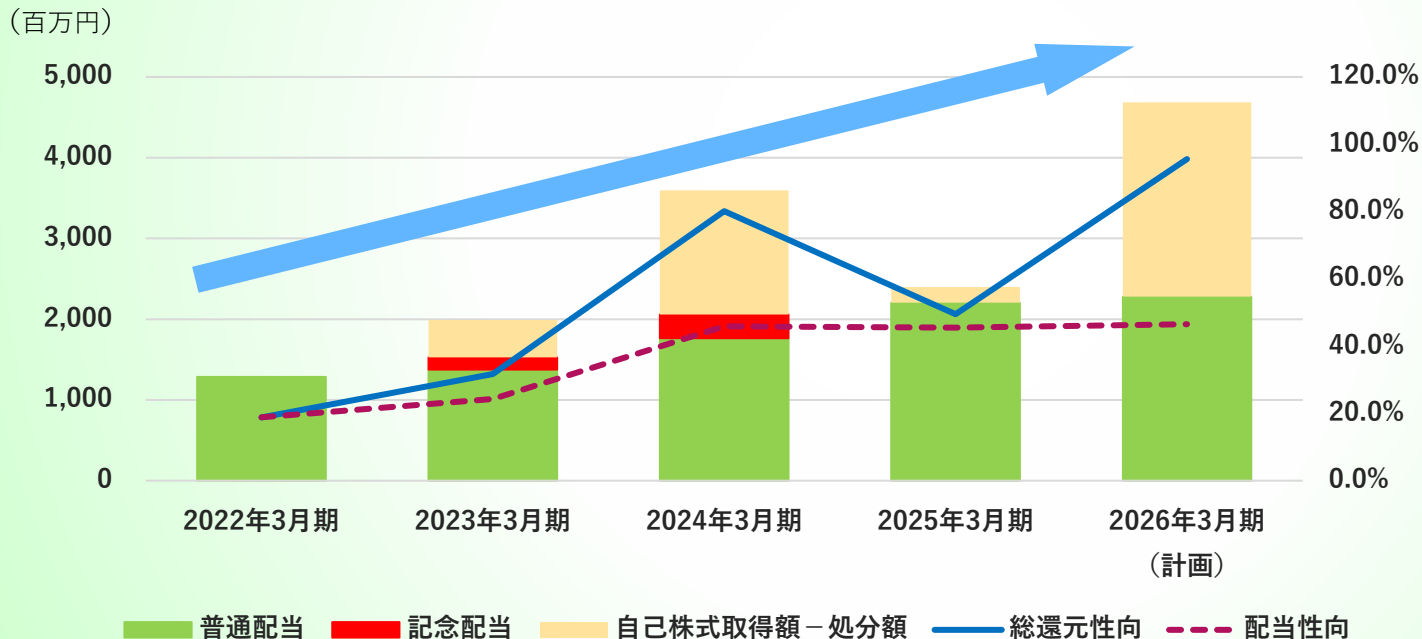
配当予想及び推移



総還元額・総還元性向の推移



将来に向けた成長投資を行うとともに着実に総還元性向を向上させ、株主還元を拡充
今年度の総還元性向は**100%**程度となる見込み



当社の通期業績予想、配当予想に基づいて作成した推移見込みイメージ。
自己株式の取得に関しては、本年度対象期間中に、総額上限（昨年度と合わせて26億円）まで取得するとの前提に基づき作成。

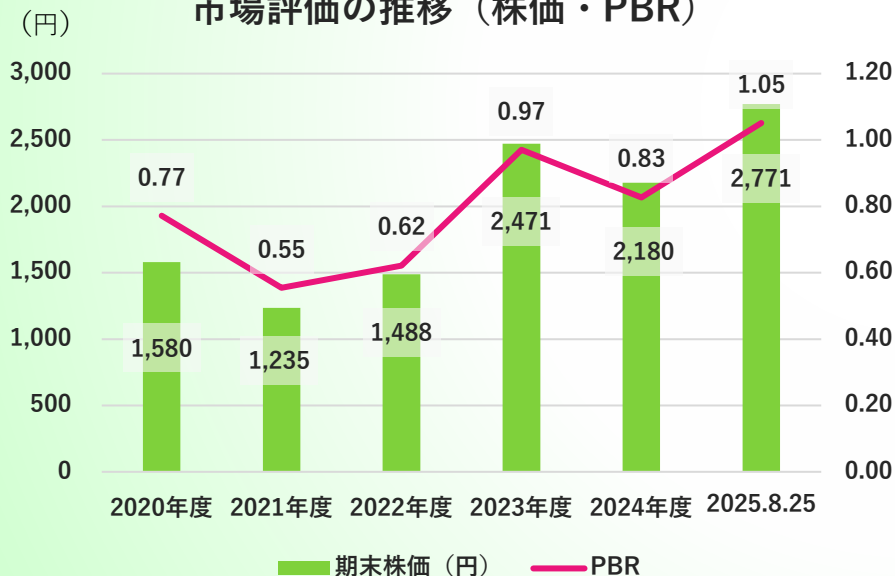
資本コストや株価を意識した経営の実践



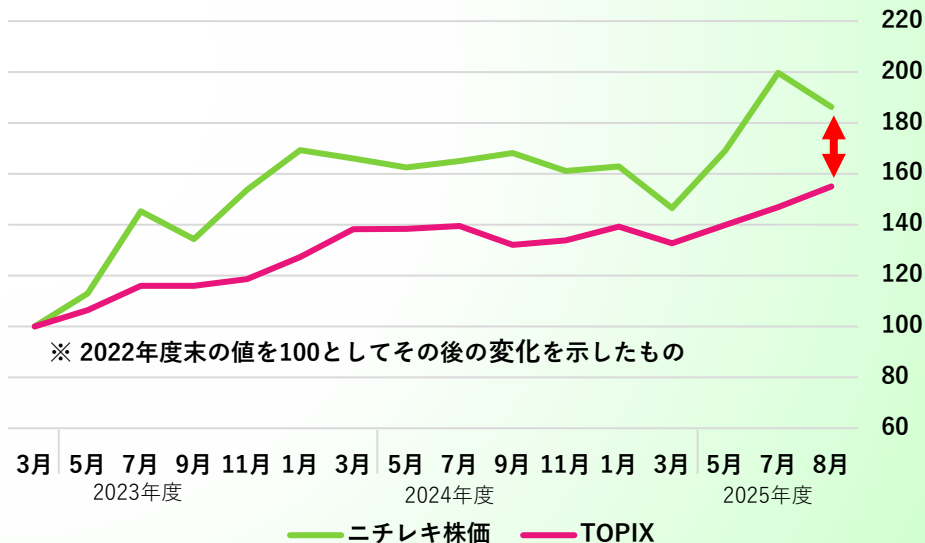
資本コストや株価を意識した経営の実践により、ニチレキG株価は2023年度以降着実に上昇し、TOPIXのパフォーマンスを大きく上回る

PBRは1倍程度まで上昇

市場評価の推移（株価・PBR）



対TOPIXニチレキG株価推移（2023年度～）



V. ESGの取り組み

ESGの取り組み



「E」 (環境)

- 「足すテナビリティ®」をキーワードに、**CO₂排出量削減に貢献する製品・工法の開発**に注力
- 気候関連財務情報開示タスクフォース **TCFDに賛同**
- CDP気候変動レポート2024で「B」スコア認定（上から3番目の評価）

「S」 (社会)

- 舗装の強靱化・長寿命化に資する技術・製品の提供を通じ、**老朽化が進む社会インフラの課題解決**に貢献
- 地震に強い舗装の提供により**災害に強いインフラ整備**を支援

「G」 (ガバナンス)

- **持株会社体制**および**監査等委員会設置会社への移行**を通じ、グループ経営の効率化と監督機能を強化
- **譲渡制限付株式報酬制度の導入**により、経営陣の報酬と株主価値の連動性を強化

(参考資料)

ニチレキグループ企業理念

基本理念(種播き精神)

『種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる』

たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ①優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ②国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ③顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

事業概要

主として道路舗装に関する製品、技術、工事等を幅広く提供する事業を展開

●アスファルト応用加工製品事業

アスファルト乳剤、改質アスファルト、橋梁床版防水材料、路面補修材、クラック補修材、景観舗装材料、工業用製品などのアスファルト応用加工製品の製造・販売、および建築・土木用資材の製造加工・販売



●道路舗装事業

道路舗装工事、橋梁床版防水工事、上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負、およびこれらに関する調査・診断、設計、監理



最近のトピックス



12月 能登半島地震における災害支援に対する感謝状を受領

1月 インフラメンテナンス大賞
「防衛大臣賞」受賞

3月 「ロメンキャッチャースーパーMWD」
サービス開始

4月 インドにおける合併会社設立
2024年度舗装工学論文賞受賞

5月 第46回 2025日本BtoB広告賞
新聞広告の部「金賞」受賞

7月 ラジオNIKKEI
「この企業に注目！相場の福の神」出演
「日本経済新聞」 広告掲載①②

8月 「日本経済新聞」 広告掲載③

日経・東証IRフェア2025 に出展します



開催概要

日時	2025年9月26日(金)、27日(土) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト 西3・4ホール
主催	日本経済新聞社、日本取引所グループ

当社展示ブース : 065

会社説明会 : 9月26日(金) 11:00-11:25
「日経・東証IRフェア2025」会場内 C会場
登壇者: 当社代表取締役社長 小幡 学

ラジオNIKKEIブース: 9月26日(金) 13:00-
インタビュー 「日経・東証IRフェア2025」会場内「ラジオNIKKEI」ブース
登壇者: 当社代表取締役社長 小幡 学



<https://ps.nikkei.com/irfair/>

◆ ご注意事項

本資料に含まれる業績予想等の将来予測に関する記述は、資料作成時点における入手可能情報および、当社の判断・仮定に基づくものです。今後の経済状況および事業環境の変化等により、実際の業績は現時点の予測から乖離する可能性があります。

◆ お問い合わせ先

ニチレキグループ株式会社 広報部 IR担当

E-mail : kouhou@nichireki.jp

HP : <https://www.nichireki.co.jp/inquiry/>